

経営力向上計画の取組事例集

令和6年4月
中部経済産業局
経営力向上室

名古屋メッキ工業株式会社（金属製品製造業／愛知県）

【2021年2月計画認定】

- 自動車関連部品を中心としためっき加工が主、自動車業界のMASS・CASE化で構造変化が予想される中、主力内燃機関部品の加工以外にも、軸となる事業分野を模索。
- 系列に依らない価値を通じた繋がりを志向、従来取り組んでなかった「装飾性」の技術力を高め、自社の強み「量産」と掛け合わせて、ゴルフクラブヘッドの量産化を実現。
- めっき加工に付加価値を持たせるべく、各種難素材への加工等に、従前より取り組み、当該技術の基盤となる、めっき液を自社で製造するなど、研究開発を重点的に実施。繊維にめっき加工を施し、機能性を大幅に拡充させた「繊維めっき線」等を開発。

<会社紹介>

海のロマンス工場（常滑市）



（製品例）ゴルフクラブヘッド



自動ニッケルめっき装置



「繊維めっき線」の開発



<具体的な取組>

- 中小企業複数社で連携して、ゴルフクラブを商品化した過去取組実績を基に、国内ゴルフメーカーに営業を行い、自社の加工技術と量産の強みを評価されて、量産受注を実現。ゴルフメーカーの海外販路やブランド力を活かし、売上も順調に推移。
- 事業再構築補助金を活用し、ゴルフクラブの量産加工ラインを設置。また、中小企業経営強化税制を活用し、既存めっきラインを最新装置に更新・新設。生産スピードを高め、生産性向上を図る。
- 「繊維めっき線」は、25年前から研究、従来の銅線重量の6割、引っ張り強度5倍、屈曲性3倍と大幅に機能性拡充。試作段階であるが、今後、需要拡大に伴い、設備投資に繋げる予定。

株式会社鳥越樹脂工業（プラスチック製品製造業／愛知県）【2020年5月計画認定】

- 自動車産業における1社1業種の取引依存から脱却し、売上安定を図るべく、試作品製造のみならず、自社が強みとする設計／デザイン分野へと事業領域を順次拡大。
- 自動車分野においては、オプションパーツの多品種少量量産にシフトするとともに、試作品製造において培われた技術力を生かして、健康美容分野に新たに事業進出。健康美容関連の商品開発・販路開拓に際しては、企画・販売会社等と連携することで、自社の事業領域に集中、自社商品「泡立て器」の大ヒットの他、多数商品を企画製作。
- 大学や他企業等とも連携し、ネットワークを構築しながら、カーボンニュートラルやSDGs等の社会課題への対応に貢献する多様な関連商品を積極的に開発・展開。

<商品紹介>

本社外観



ポータブルチェア



洗顔用泡立て器



木製パレット再利用商品



<具体的な取組>

- 中小企業経営強化税制を活用して3DCADや射出成形機等の設備投資を進めるとともに、積極的な商品開発、展示会等を通じた販路開拓、企画販売パートナーと連携構築を推進。
- 健康美容分野では、自社商品の泡立て器「あわわ」が170万個販売の大ヒット。地元大学の学生提案による商品の開発取組なども毎年実施。
- カーボンニュートラルやSDGsなどの社会課題に対応した関連商品を積極的に開発・展開（幅広く幼児向けに様々な場面で座れるポータブルチェア、木製パレットを再利用したインテリア商品等）。

株式会社大野ナイフ製作所（金属製品製造業／岐阜県）【2023年1月計画認定】

- 刃物産地の関市で創業107年、大手刃物メーカーへのO E M供給により、海外富裕層向け高級包丁を製造。高級包丁ブランド「匂」が世界中で大ヒット、ブランド地位を確立。
- 多品種少量かつ製造工程が100以上に渡り、経験と勘による職人工程も多数含まれる中、量産供給と品質平準化を実現するべく、職人技を必要としない工程のロボット自動化、全工程の進捗状況の可視化など、I C T化の積極的な推進により生産性向上を達成。
- I C T化に際しては、I o T推進チームを立ち上げ、現場の声を踏まえ、ボトムアップによる改善を実現。今後も更なる業務効率化に向けて、継続的にシステム導入予定。

<会社紹介>

本社外観（関市）



生産設備（自動化）



高級包丁ブランド「匂」



I o T 生産管理システム



<具体的な取組>

- 中小企業経営強化税制を積極的に活用、各種自動化設備、生産管理システム等の設備投資によるI C T化を通じて生産性向上を達成。
- I o T推進チーム主導の下、ベンダーから情報収集しつつ、現場の声を聞きながら、自社に合う形での生産管理システムを導入。結果、自動化設備の効果と併せ、売上が120%増加。また、人員配置見直しによる無駄削減により、残業時間8割削減。
- 自社ノウハウの蓄積により、O J Tによる自前でのI C T人材育成の他、他社への自社システム販売やコンサル業務を新たな事業としても展開。

- 大手企業の下請け依存から脱却を図るべく、自社強みの研磨技術を追求、研磨加工による国内唯一のデザイン技術を確立して、デザイン研磨という新たな市場を開拓。
- 小規模事業者でありながら、製品に高級感を付加させたい幅広い業界の大手メーカーから引き合いがあり、直近では、平板への加工だけでなく、自動車のホイールのような立体形状物への研磨加工技術も確立。今後、量産に向けて更なる事業拡大を見据える。
- カーボンニュートラルやSDGsに資する取組として、塗装によらない再生金属材の活用ニーズが見込まれる中、自社研磨技術を活用することで、環境負荷低減への貢献も期待。

<会社紹介>

本社外観（美濃加茂市）



研磨加工によるデザイン



高級自動車向け内装部品



渋谷スクランブルスクエア外装



<具体的な取組>

- 創業以来、研磨技術を追求、自社開発の専用加工機により、100種類以上のデザインを製作。取引先の要望に応じ一品一様の模様を開発するなど、他社がまねできない研磨加工技術とノウハウを蓄積。
- 中小企業経営強化税制を活用、マシニングセンタ等の設備投資を行い、高速研磨加工により生産性スピードを向上させ、量産加工への対応可能に。
- 取引先からの紹介や展示会等への出展を通じて、販路を拡大、従前、対応できなかった立体形状物への加工技術を確立したことで、事業範囲を拡大。
- 今後量産対応や塗装レスなどによる環境負荷低減のニーズに貢献するため、更なる設備投資も検討。

中村電機工業株式会社（電気機械器具製造業／愛知県）【2019年4月計画認定】

○車載用抵抗器製造企業として、国内に加えタイ、中国、インド、メキシコに生産拠点をグローバル展開し顧客ニーズに対応。特に国内で軽／普通自動車市場で高いシェアを保有。

○海外企業との競争激化の中、価格競争力強化に向けて調達部品を内製化。アルミ加工、樹脂成形、電子基板実装等の工程構築を進め、設計から組付までの一貫生産体制を整備。

○経営力向上計画の認定を受け、海外拠点にて資金調達（クロスボーダーローン）を活用。自動組付装置ラインや成形機等の内製化設備を導入することで、量産体制を整備。

<会社紹介>

本社外観（犬山市）



自動組み付け装置



ブロワーファンコントローラ (B L C)



プリント基板実装ライン



<具体的な取組>

- 当初の自社工程である設計／組立に加え、代表者のネットワークを活かした人材獲得、設備投資を積極的に行い、10年弱で段階的に製造工程を拡大。同時に、海外拠点での生産体制を構築。
- 中小企業経営強化税制を積極的に活用し、工程拡大や生産体制整備にかかる設備投資の法人税負担を軽減。海外拠点についても経営力向上計画に含めながら、現地法人にて、運転資金及び設備資金を調達（クロスボーダーローン）。
- 主力製品製造に必要な樹脂とアルミは、インサート成形で一体化、組付は自動機を自社設計し、量産に向け品質安定化と高生産効率を実現。

株式会社フジ技研（輸送用機械器具製造業／三重県）

【2021年6月計画認定】

- 主に自動車部品の開発から量産段階の試作、量産後の補給品、各種治具の設計製作まで、設計から組立までの全製造工程を内製化、顧客の開発から量産化プロセスを一貫支援。
- 戦略的な事業計画に基づき、積極的な設備投資を重ね、短期間での事業規模拡大を実現。将来的な自動車部品共通化、開発試作予算の縮小等を見据え、新工場建設、段階的に量産工程を内製化、一貫生産のノウハウ・地理的利点を活かし、本格的な量産を開始。
- 地域交流拠点としてFUJIHUBを開設し、ものづくり体験機能をはじめ、事業承継した地元養鶏場の地域産品を活かした商品提供を行うなど、地域活性化に大きく貢献。

＜会社紹介＞

本社外観（いなべ市）



カチオン塗装設備



試作部品（シートフレーム）



FUJIHUB（フジハブ）



＜具体的な取組＞

- 中小企業経営強化税制を積極的活用、製造工程を段階的に内製化、短期間で事業規模を大幅に拡大するとともに、全行程の自社一貫生産を実現。
- 取引先への交通便利、地価コストの優位性等、地理的利点を活かした戦略的設備投資により、塗装工程を内製化、自社一貫生産を強化することで、顧客の物流コスト、CO₂排出量削減にも繋げ、他社との差別化に図る。
- 事業再構築補助金を活用し、地域内交流拠点のFUJIHUBを開設、集客イベントの他、事業承継した地元養鶏場の地域産品を活かした商品、ものづくり体験等を展開し、地域活性化に貢献。

株式会社中村製作所 (金属工作機械用・金属加工機械用部分品・附属品製造業／三重県) 【2016年10月計画認定】

- 工作機械関連部品の製造で培われた高度な精密加工技術を強みに幅広い素材への加工に挑戦しながら、航空宇宙関連、ロボット関連分野等、事業領域を順次拡大。若手工員が主体のため資格取得奨励等による人材育成、積極的な設備投資により生産体制を拡充。
- 自社ブランド「MORATURA」を設立。チタン製の印鑑をはじめ、県の伝統工芸品「萬古焼」と自社技術を合わせた蓄熱調理土鍋「best pot」などの自社商品を開発。国内外の販路開拓にも積極的に取り組み、順調に売上推移。
- 他中小企業とNWを構築し、展示会の共同出店・共同受注など連携協力。また、自社協力企業と大手企業間の受注窓口（ハブ機能）も担うことで、今後、地域企業の牽引も期待。

<会社紹介>

本社外観（四日市市）



Best pot



5軸制御立形複合加工機



Best pot



<具体的な取組>

- 部品加工の工程集約や高精度加工の効率化を図るべく、各種補助金、中小企業経営強化税制を活用して、積極的に設備投資を行い、技術の高度化、研磨から品質管理までの一貫生産体制を確立。
- 「best pot」は代表者の発案をベースに外部デザイナーと連携しながら開発。SNS等での発信に組みながら、巣ごもり需要で大ヒット。令和3年には自社ブランド需要に対応する新工場を立上げ。
- 中部地区の異分野要素技術を持った中小企業14社が連携して「中部ものづくりUNITED」を2014年に設立。展示会共同出店、共同受注、海外展開、製品開発、技術開発等を共同で行う。

チヨダ工業株式会社（生産用機械器具製造業／愛知県）【2022年5月計画認定】

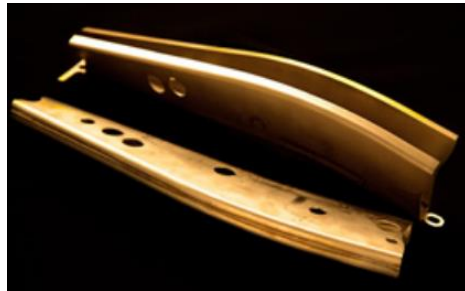
- 大手自動車部品メーカー向けシート部品用金型が主力、超高張力鋼板を当初より手掛け、同分野に圧倒的な強みと実績を有し、同自動車メーカー全体の7割程のシェア保有。
- 部品共通化の影響で将来的な受注減少が懸念される中、自動車のEV化に伴う新たな需要を取り込むべく、自社金型技術を活かし、モーターコアの精密金型分野へ新事業を展開。
- 木に樹脂を含浸させ多種多様な形に成形する独自技術「木質流動成形」を大学・研究機関・大手メーカーと共同研究。今後、幅広い商品開発や環境負荷低減への貢献期待。

<会社紹介>

本社外観（東郷町）



高強度フレームの開発



木質流動成形スピーカー



精密加工用機械装置



<具体的な取組>

- 部品共通化による将来の受注減少に対応するため、EVのモーターコアの端面不良による磁気損失を金型の精密加工により改善するべく、中小企業等経営強化税制を活用し設備投資を行い、精密金型分野への新事業展開を図る。
- サポイン、NEDO予算等を活用して、大学・研究機関・大手メーカーと連携して「木質流動成形」技術を活かした商品開発等の共同研究実施。
- 木質流動成形技術を活用した木製の高音質スピーカーや将棋駒などの自社商品を開発販売。今後、幅広い業界からも商品への活用が見込まれ、間伐材等の資源の有効活用など、環境負荷低減、CO2排出量削減の観点からも当該技術への貢献期待。

原田車両設計株式会社（自動車部分品・附属品製造業／愛知県） 【2022年8月計画認定】

○C A D等ソフトウェアへの投資を進め、自動車分野の量産開発で蓄積された高い技術力やノウハウの強みと併せて、試作や小ロット量産体制を整備。量産開発以外にも、航空や福祉医療等の幅広い分野において、お客様のアイディアを基に製品化までのプロセスを一貫して提供。

○高難度案件にも挑戦する社風で、大手企業の次世代／パーソナルモビリティ開発案件に多数関与し貢献。受注獲得、技術力向上、人材育成の好循環を実現し継続的に体制強化。

○3 Dプリンタへの投資を推進し、従来の方法に囚われない最適なモノづくりを提供。有志企業で「3D innovation hub」を結成し、3 Dプリンタの課題共有と可能性を広域に発信することで、市場の活性化に期待。

<会社紹介> ※技術支援実績

本社外観



3 Dプリンタ



次世代モビリティ



乗用人型変形ロボット「SR-01」
（外装パーツ：PP粉末材料 大型3 Dプリンタ製）



<具体的な取組>

○C A D等への投資により設計開発部門を強化する傍ら、3 Dプリンターや試作設備等への投資を進め、設計開発とモノづくりの両体制を確立。最新設備への投資には中小企業経営強化税制を活用。

○次世代モビリティ開発P Jに多数参加し技術力を向上。近時は、制御系ソフトウェア開発に注力し、将来的には自動運転車両ソフトウェア開発など幅広い事業領域への展開を目指す。

○金属／樹脂造形を揃え、高い造形技術を活かして、短納期・低コストでの製品提供を実現。今後も、魅力的なコンテンツの3 Dデータを収集しながら、3 Dプリンターによる新たな事業展開を計画。

株式会社テルミック（金属加工部品製造業／愛知県）

【2022年11月計画認定】

- リーマンショックを契機に大手自動車部品企業との取引に依存せず、中小企業同士の横の繋がりを通じて、取引先と業容の拡大を図り、安定的な成長に繋げる方向性へ転換。
- 製造業のイメージを一新すべく、物流に軸足を置いたDX推進、女性従業員の積極的採用、社員ファーストの環境整備等、従来の製造業と異なる取組改善を重ね、企業変革を実現。
- IoTスマート工場・物流拠点を新設、IoT化によるコスト低減等により、取引規模を拡大、取引先と仕入先を繋ぐプラットフォーマーの地位を確立することで、業績急拡大を達成。他社中小企業に自社仕組みを活用してもらうことで、相互補完できる関係構築を目指す。

<会社紹介>

りんくう常滑事業所外観（常滑市）



りんくう常滑事務所（社内）



I o T物流システム・
自動搬送用ロボット



テルミックスタジオ（刈谷市）



<具体的な取組>

- 常滑工場新設に伴うI o T設備等について、中小企業経営強化税制を活用、生産性向上に貢献。
- 少量多品種加工を国内外協力先に外注、品質は自社が保証。物流のIoT化、取扱数量、空港近隣立地を活かし、低コスト、短納期、一括配送を実現。
- 全社員7割弱が女性、製造業を魅力的な職場環境に変革するとともに、独自生産管理システムの構築により、図面データから過去類似図面、見積価格等を自動抽出、加工経験がない人材を即戦力化。
- E C戦略等にSNS積極活用、スタジオ（ラジオブース）設置による情報発信等、昨年はコロナ禍にも関わらず約1300社が見学。CNやSDGsへの取組も積極的実施。

- エネルギー価格高騰、自動車業界のEV化による影響等、熱処理業界を取り巻く厳しい経営環境の中、競争の激しい少量単品から量産品加工へシフト。自動車以外にも、エネルギー関連、半導体関連など受注分野の分散化を通じて、安定的な利益確保を図る。
- 長年の真空熱処理加工で培われた技能人材による顧客ニーズに応じたオーダーメイドによる熱処理加工に強み。加えて、異なる熱処理技術を有する同業他社と連携により最適加工方法の提案、自社技能を活かした炉メンテナンス事業、熱処理技術講習など実施。
「世界一綺麗な熱処理工場」を掲げ、職場環境改善、業界イメージの一新に尽力。
- 子会社AMNを立ち上げ、自社NWを活かしながら、デザイナーと地域中小ものづくり企業をマッチング、新商品開発、販路開拓等の伴走型支援ビジネスモデルを新たに展開。

<会社紹介>

本社外観（安城市）



展望式工場見学ルーム（本社）



真空熱処理炉（能登工場）



商品開発支援プロジェクト (AICHI DESIGN VISION)



<具体的な取組>

- 中小企業経営強化税制の活用により、真空熱処理炉を設備投資。令和3年操業の北陸能登工場において、今後、事業再構築補助金を活用することで、更なる設備投資を行い、新規顧客開拓に繋げる。
- 長年の真空熱処理加工を通じた技能人材のノウハウを活かして、他社との差別化に繋げるとともに、社内教育・技術提案力向上を徹底、メンテナンス事業や熱処理技術講習など事業分野の多角化実現。
- 子会社AMNを通じて、デザイナーと地域中小ものづくり企業の新商品開発プロジェクトを立ち上げ、クラウドファンディングを通じた販路開拓支援により、多数の商品化を実現。今後、自社NWを活かしつつ、当地域だけでなく全国的な展開も視野。

株式会社タイセイプラス（プラスチック製品製造業／愛知県）【2022年11月計画認定】

- ブロー成形技術に特化し、自動車部品製造を手掛けてきたが、自動車部品大手向け9割超と一社依存比率が高く、将来的な業界構造の変化も見据え、自動車部品製造で培った技術、全国に拠点がある強みを活かし、新規取引先の開拓に注力、経営安定化を図る。
- 新事業分野に挑戦するべく、B to C事業として、自社商品「お風呂用枕」を開発。ECサイトや展示会等で好評を博したが、継続的な売上げに繋げるためには、自社商品ラインナップ拡充や、自社販売ルートの確保等、ノウハウ部分での課題が顕在化。
- 当該課題を克服するべく、異業種である陶磁器販売会社をM & Aにより取得。自社商品のラインナップ拡充や、業界の商流、トレンドやニーズなどノウハウ取得することで、自社技術を活かした商品開発等、今後、シナジー効果を通じた経営力向上を図る。

<会社紹介>

本社外観（清須市）



ブロー成形機（本社）



射出成形機（津島工場）



お風呂用枕「yurayura」



<具体的な取組>

- ブロー成形にて新規顧客開拓に注力しつつ、自動車部品大手顧客要望に応える形で、中小企業経営強化税制を活用し、射出成形機によるI o T製造も取り入れ、高効率なものづくりへ転換により、収益向上にも繋げる。
- B to C向け商品開発において、商品シリーズ拡充、販売ルート確保等、ノウハウを取得するべく、陶磁器会社へM & A実施。自社商品拡充、商流確保、業界トレンド・ニーズ等の把握とともに、製造業手法による収益改善、新商品開発等も今後検討。
- M & Aに際しては、経営資源集約化税（中小企業事業再編投資損失準備金）を活用。投資額の7割以下を準備金として積立、損金算入を可能に。

- 自動車トランスミッション用歯車を主に製造、将来的なEV化を見据え、産業用ロボット減速機用歯車にも業務範囲を拡大。自動化・省人化設備を積極的に導入した新工場設置。
- 自動化・省人化は、25年前からトップダウンにより現場で取り組み、自動化ノウハウ蓄積と人材育成を実現。業況に応じて、自社で柔軟に自動化工程を構築可能な点が強み。
- 事業拡大局面においては、自動化・省人化により、大幅に人員を増やすのではなく、既存人材の多台持ち等による生産性向上に重点を置き、コスト競争力強化、売上拡大を実現。

＜会社紹介＞

本社外観（大府市）



自動車向けエンジン用歯車
（歯研仕様）



本社工場（自動化ライン）



歯車品質検査装置



＜具体的な取組＞

- 経営強化税制を活用、自動化設備を積極的に導入。同一設備とすることで、業況に応じて、自動車から産業ロボット向け、少量多品種への対応等、臨機応変に自動化ラインを変更。今後、設備稼働状況の見える化を進め、更なる生産性向上に繋げる。
- 自動化を自社でできるようにすべきという社長の方針の下、現場がメーカーと一緒に検討を重ね、バラ積み部品を3Dカメラで識別し、産業用ロボットが「つかむ」という工程等の自動化を実現。
- 自社開発技術「CBN電着ウォーム歯研」は、研削により歯車精度向上を実現。低コスト、静音性に優れ、将来性に期待。事業再構築補助金の活用により、歯車の品質検査装置を導入。EV向け部品の研究開発にも活用し、競争力強化に繋げる。

安藤鉄工株式会社（生産用機械器具製造業／岐阜県）【2021年10月計画認定】

- 産業用ロボットの精密減速機の主要部品を製造、世界中のロボットの約6割以上のシェア。今後、産業用ロボット市場の世界的な需要拡大を見越し、近隣2拠点に新工場設置予定。自動化・省人化設備の導入と併せて、積極的な設備投資により、生産拡大を図る。
- 工作機械台数600台と他社に比べ圧倒的な供給能力、メーカー・仕様を統一することで、一貫した多能工教育を実施し、フレキシブルかつBCP上も対応可能な生産体制を構築。
- 地方で人材確保が厳しい中、省人化・自動化設備を積極的に導入したことにより、生産性向上、労働環境改善を図り、安定的な人材確保に繋げ、拠点拡大に伴う生産対応を実現。

<会社紹介>

本社外観（池田町）



産業用ロボット精密減速機部品



本社工場（自動化ライン）



自動化設備（バリ取り）



<具体的な取組>

- 経営強化税制活用により、NC旋盤、マシニングセンター、産業ロボット等の自動化設備を積極的に導入。旋盤工程は100%自動化。設備を同一とし、多能工化教育を併せて推進することで、低コストで、増産時に応じた柔軟な生産体制構築。
- 社長トップダウンにより、バリ取り工程を自動化、現場とメーカーで5,6年かけ検討。ものづくり補助金も活用し、経験と勘による工程の自動化実現。
- リーマンショック時に今後の人員確保が困難になることを予測、工場拡張に併せて自動化・省人化に取り組み始め、積極的に人材採用を行ってきた。（リーマン時約100名→現在約350名）結果、現在の人手不足の中においても、業容拡大に対応。

- 自動車の超精密小物部品を中心に、独自のソーリングや加工プログラムを強みにコスト優位のワンストップ生産体制を構築。切削加工技術を生かし、医療機器等の新分野に進出。
- 更なるコスト低減に加え、人材確保と労務環境改善にも対応すべく、DX推進専門部署を設置、全社を挙げて、帳票の電子化等DXに向けた取り組みを積極的に推進。
- IoTによる取得データの活用により、刃具交換時期の予測と見える化を実現。加えて、自社アイデア・技術を駆使し、バリゼロ加工設備等を開発するなど、各種自動化も実現。

<会社紹介>

本社外観（桑名市）



自動盤工程



自動車向け精密小物部品



検査の自動化



<具体的な取組>

- 経営力向上計画を策定し、CNC自動旋盤等の設備投資について税制特例を活用。またタイ現地法人における投資にも対応すべく、クロスボーダーローンとスタンドバイクレジットによる資金調達を実施。
- 不定期に大量の刃具の交換が必要な自動盤は、研究を重ねて交換時期の予兆管理に成功。設備に応じた刃具交換と定期チェックのタイミングの見える化により、作業効率を大幅改善、24台設備の3名での多台持ちを実現、省人化による生産性向上に繋げる。
- プロジェクトチームの立ち上げやの専門部署の設置により自動化、DXを全社的に推進。並行して「研修センター」を開設し、自社の強みである高度な切削加工技術の継承にも取組を実施。

豊橋鍍金工業株式会社（金属製品製造業／愛知県）

【2022年7月計画認定】

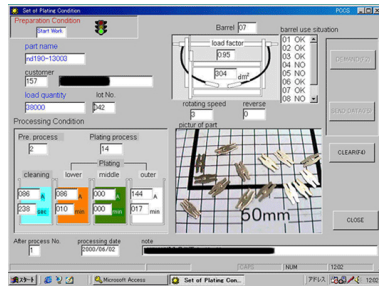
- 車載用電装品のメッキ加工が主。将来的なEV化を見据え、研究開発や設備導入で国の施策を積極的活用、EV・PHV向けの充電プラグに利用される銀めっきの研究開発に重点的に取り組み、大手自動車メーカーEV・PHV向け充電プラグ加工業務を一手に受注。
- 「自動メッキ条件設定PCシステム」を自社で構築、工程自動化による生産性向上を実現。限られた人員の中で、研究開発・技術部門に重点的に人員を配置、研究開発機能を強化。
- 今後、自動車以外の事業分野にも進出すべく、半導体機器の検査器具であるコンタクトプローブの事業化を進め、自社利益率の改善、新たな事業の柱として、事業拡大を目指す。

<会社紹介>

本社外観（豊橋市）



「自動メッキ条件設定PCシステム」



<具体的な取組>

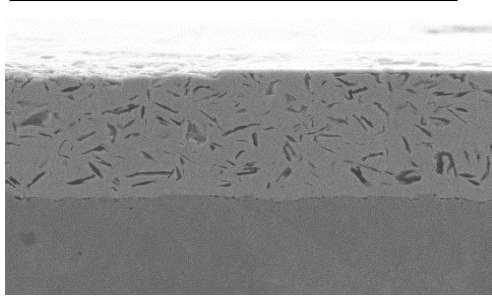
- 研究開発でサポイン事業、事業化に向けた設備導入で各種補助金を多数活用、併せて経営強化税制活用、技術力・知名度の向上に加え、生産性向上も実現。
- 平成10年頃に「自動メッキ条件設定PCシステム」を自社で製作。管理表バーコードのスキキャンで各部品に応じた各種条件を自動設定。入力ミスが無くなり、経験浅い従業員も対応可能な自動化工程を構築。
- 従業員30人規模で、業務状況に応じ製造ラインを手伝いながらも、開発部、技術部各3名と研究開発・技術分野に重点的に人員配置、研究開発機能を強化。
- グラファイトと銀の複合めっき加工を研究開発。プラグを抜き差ししても、柔らかく耐久性が高いため、将来、多分野で実用性も高く、今後の事業化に期待。

EV・PHV向け充電プラグ



研究開発内容

（グラファイト銀複合めっき）



○岐阜県で唯一の、ろう付けや熱処理を内製化し社内一貫生産体制を構築した刃物メーカー。生産技術や加工技術を活かし、紙断裁包丁、リサイクル用粉碎刃、樹脂・鉄鋼・食品加工用の刃物、半導体関連部品をはじめ、家庭用の三徳包丁、ペティナイフまで、あらゆる新市場に進出。

○経営理念や経営方針のない社員主導體制。営業活動にノルマはなく、社員自らの目標設定に基づき行動、新規顧客は大幅に増加し売上成長。さらに、社員主体で改善報告制度を実施し、生産性向上に繋がっている。

○少数精鋭の開発チームを組織し、日本で初めて超硬合金の包丁「KISEKI:」の量産に成功した。メディア等で紹介され、受注好調。

<会社紹介>

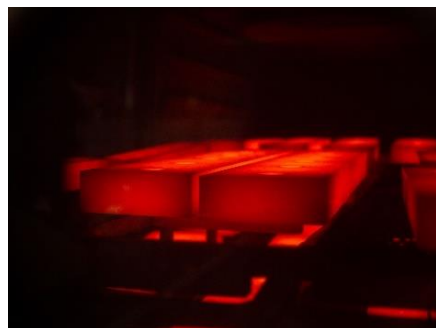
工場外観（関市）



ワイヤーカット加工



熱処理工程



超硬合金包丁 K I S E K I :



<具体的な取組>

- ・100%正社員、社内一貫生産、社員主導體制を実施。また、中小企業経営強化税制の活用により設備投資を行い、生産体制を強化。

「KISEKI:」の柄に使用されている木材加工にも挑戦。

- ・工業用刃物、工作機械・半導体製造装置向け部品など、多種多様な製品を生産する仕組みを整備。現在は年間約1.5万種類の製品を生産している。

- ・「KISEKI:」はデザイナー等外部専門家を活用することで、自社にB to Cのノウハウを蓄積。科学的に検証した機能とデザインを両立したブランドを構築、反響もあり、堅調な受注を獲得。